



ましたので、感無量の一言です。

荒木 幸子 建物の外には芝生が広がり、外観もならかな屋根の平屋のようで、とても入りやすい雰囲気だと感じました。

富 優しくまちを包み込んでくれるような建物が完成しましたね。では堀尾館長、そんなカレードの見どころを教えてください。

館長 すべてを見ていただきたいですが、まずはブックタワーです。屋根を支える2本の大黒柱をただの柱ではなく、本棚としても使おうということで作りました。また、おはなし会コーナーにはパオ（昇降幕）があります。パオの原画は市出身のアニメ映画監督・米

林宏昌さんが描いてくれました。

富 パオには2つの輪があり、それぞれのイラストにテーマがあるのですね。

館長 はい。外周が野々市の行事を写し取った「のいのちの輪」、内周が「世界の輪」をテーマに描いています。

富 荒木さんはパオについてどのように思いますか。

荒木 通常、図書館は咳をするのはばかられる静けさで緊張しますが、パオのあるおはなし会コーナーでは子どもたちの声が聞こえ、アミューズメントパークのようなワクワクする雰囲気皆さんが楽しめると思っています。

富 栗市長、カレードのシンボルでもあるブックタワーは「知の集積」をイメージしているのですね。

市長 ぜひブックタワーを実際に見て学習意欲を高め、学びを通じて活躍でき

るということを実感していただければと思います。

富 堀尾館長、併設されている市民学習センターについても教えてください。

館長 カレードの特徴は図書館だけでなく、周囲に音楽スタジオやキッチンスタジオ、工房などの学習施設を配置していることです。例えば、音楽スタジオには音響を専門にしている方も驚くほどの設備を備えています。また、スタジオや工房は全室ガラス張りになっているので、図書館から活動の様子を見ることができます。

富 このような構造にしたことは何か理由があるのでしょうか。

館長 図書館、市民学習センターからお互いが見えるようにすることで、活動を通して皆さんの好奇心をかきたてることを目的としています。また、市民展示室やオープンギャラリーも備

えていますので、作品の制作から展示までをすべてカレードで行うことができます。

富 荒木さんはどのような作品を制作されるのですか。また、カレードでの作品展示についてどのように思いますか。

荒木 私は長年油絵を描いています。これまで制作した作品を展示するために十分なスペースのある施設がありませんでした。しかし、カレードには広い市民展示室やオープンギャラリーが備えられていて素晴らしいと思います。

富 このような場で制作や展示をすることで、やりがいや創作意欲も一段と湧いてきそうですね。ところで堀尾館長、図書館には情報通信技術（ＩＣＴ）を活用しているとお聞きました。

館長 はい。カレードは情報通信技術を搭載した機器を多数備えていて、全国で

も最先端の図書館ではないかと思っています。自動貸出機、自動返却機、電子新聞など、多くが機械化されています。この結果、スタッフが余裕をもって皆さんをおもてなしできると考えています。

富 カレードは午後10時まで開館していますが、夜でも学生や社会人の方が集中して勉強したり、ご年配の方もゆっくりと本を読んだりしています。夜に図書館へ行く、というイメージはこれまであまりなかったのではないのでしょうか。

館長 はい。全国でも午後10時まで開館している図書館はあまりないのではないかと思います。当初は夜まで利用していただけで



(左から)
荒木 幸子
市美術文化協会
副会長

堀尾 あづみ
学びの杜のいち
カレード
館長

栗 貴章
野々市市長

富 優香子
司会



新春
特別対談

学びの杜のいち カレード

11月1日に開館し、12月16日には来館者数が10万人を突破したカレード。市民の学びの場として大いに利用されるカレードについて対談を行いました。

富 今回は「学びの杜のいちカレード」についてたっぷりとお話を伺いたいと思います。11月1日、皆さんが待ち望んでいたカレードがついに開館しましたね。また、11月はたくさんイベントが催されていました。

市長 はい。開館以降、たくさんの方にお越しいただき、大変うれしく感じています。イベントに関しては、特に米林宏昌さんや荒俣宏さんの講演会には定員を大きく上回る応募があり、大盛況でした。

富 カレードは図書館だけではなく、市民学習センターとの複合施設になっているのですね。

市長 そうですね。カレードは図書館と市民学習センター、憩いの広場が一体となった施設で、皆さんの学びをイメージして作りしました。

富 堀尾館長、カレード開館当日の様子について教えてください。

館長 門出にふさわしい晴天で、平日にも関わらず、初日から約3800人の方が訪れ、朝から夜までにぎわっていました。

富 荒木さんはどのように感じますか。

荒木 市民の皆さんが待ち望んでいたということが伝わってきますね。市民の手でこれからカレードを育てていかなければならないと感じました。

富 堀尾館長・荒木さんは完成したカレードを見てどのように感じますか。

館長 建築段階から現場見学会などにもたくさんの方が参加され、期待されてい



ろうかと懸念していました
が、実際に開館すると多く
の方が閉館までゆつたりと
利用しています。

富 夜の図書館について、
荒木さんはどのように感じ
ますか。

荒木 私も何度か夜にカ
レードを訪れましたが、学
生がテーブルを囲み、飲み
物を置いて楽しそうにして
いるのを見て、本当にいい
施設だなと感じました。

富 複合施設として、いろ
んな市民が集える場になっ
ていますね。

市長 はい。皆さんが気軽
に集まることのできる場所
にしたいとの思いでカレ
ードを建設しましたので、そ
れが現実になって本当にう
れしいです。

富 それでは、皆さんの施
設内のお気に入りスポット
を聞いてみたいと思いま
す。栗市長はいかがですか。
市長 すべてが素晴らしい
と思います。特に館内の

雰囲気がとてもいいと感じ
ています。

富 堀尾館長・荒木さんは
いかがでしょうか。

館長 天井が気に入ってい
ます。鏡面仕上げと音を吸
収する性能を持った天井に
なっていて、他の図書館に
はない自慢の天井です。

荒木 学習センターを備え
た図書館ということで非常
に珍しいと思いますし、市
民はもちろん、市外の方
にもぜひ見ていただきたいで
すね。

富 カレードは建物だけ
なく外の庭も素敵ですね。

館長 そうですね。建物を
取り囲むように芝生が敷か
れています。これを憩いの
広場と呼んでおり、皆さん
に自由に遊んでいただける
スペースとなっています。

富 それでは栗市長、カ
レードとまちの今後のつな
がりについても教えてください。
市長 はい。カレードは市

民の皆さんの力を最大限に
発揮していただく場所だと
考えています。市としても
さまざまな形でカレードを
活用し、野々市のことを発
信できたらと思っています。ま
た、文化会館フォルテや、
これから整備する地域中
心交流拠点施設とも連携し
て、にぎわいを創出してい
きたいと思っています。

富 これからも市民の皆さ
んに愛されるカレードにす
るためには、今後どのよう
に展開するべきだと考えま
すか。

荒木 市民の皆さん全員に
一度来ていただきたいと思
います。展示やイベントを
積極的にを行い、カレードに
行けば何かがある、と皆さ
んに思っていたくことで
にぎやかさを保つことがで
きるのではないでしょう
か。

館長 蔵書はもちろん、い
ろんな方が参加できるイベ
ントを用意し、カレードを

全世代の方に楽しんでも
いただける施設にしたいと思っ
ています。例えば、野々市
の特産品を市外の人にPR
するイベントなどを開催で
きたらと思っています。

市長 カレードにはコミュ
ニティバス「のっティ」が
乗り入れており、館内の掲
示板ではワンタッチでバス
の時刻表を確認することが
できます。気軽に市民が訪
れることのできる場所に
なってほしいですね。

対談の様様をテレビで 見ることができます！

次の日程で、今回の対談の様様を金沢
ケーブルテレビネットで放送します。

放送チャンネル

デジタル009チャンネル

放送日程

1月15日(月)	18:30～
17日(水)	18:30～
19日(金)	18:30～
20日(土)	14:30～
21日(日)	14:30～

12月16日(土)、カレード
開館からの入館者数が
10万人を突破しました。
10万人目の来館者となっ
た田邊さん親子(二日市5)
は、「開館から約1カ月で
10万人突破と聞いて驚い
た。カレードには子ども向
けの本もたくさんあるので
また遊びに来たい」と語り
ました。



栗市長からプレゼントを受け取る田邊さん親子